



2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年5月12日

上場会社名 広栄化学株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4367 URL <https://www.koeichem.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西本 麗
 問合せ先責任者 (役職名) 経理企画室長 (氏名) 鈴木 篤 (TEL) 03-6837-9304
 定時株主総会開催予定日 2023年6月22日 配当支払開始予定日 2023年6月1日
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月22日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の業績 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	18,601	7.5	832	63.8	855	6.6	690	△26.6
2022年3月期	17,296	△1.7	508	△65.8	802	△52.2	940	△49.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	141.24	—	3.1	2.3	4.5
2022年3月期	192.32	—	4.3	2.4	2.9

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 一百万円 2022年3月期 一百万円

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	39,082	22,054	56.4	4,509.14
2022年3月期	34,706	21,934	63.2	4,484.59

(参考) 自己資本 2023年3月期 22,054百万円 2022年3月期 21,934百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	△33	△5,094	4,908	368
2022年3月期	2,617	△4,185	1,860	577

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00	489	52.0	2.2
2023年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00	489	70.8	2.2
2024年3月期(予想)	—	50.00	—	50.00	100.00		77.6	

3. 2024年3月期の業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,100	1.0	100	△89.8	100	△90.2	50	△93.4	10.22
通期	20,800	11.8	900	8.1	840	△1.8	630	△8.8	128.80

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期	4,900,000 株	2022年3月期	4,900,000 株
② 期末自己株式数	2023年3月期	8,883 株	2022年3月期	8,883 株
③ 期中平均株式数	2023年3月期	4,891,117 株	2022年3月期	4,891,154 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件その他の関連する事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当期の財政状態の概況	P. 2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	P. 3
(4) 今後の見通し	P. 3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	P. 4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	P. 4
3. 財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 貸借対照表	P. 5
(2) 損益計算書	P. 7
(3) 株主資本等変動計算書	P. 9
(4) キャッシュ・フロー計算書	P. 11
(5) 財務諸表に関する注記事項	P. 12
(継続企業の前提に関する注記)	P. 12
(会計方針の変更)	P. 12
(セグメント情報等)	P. 12
(1株当たり情報)	P. 12
(重要な後発事象)	P. 12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度のが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限の解除とともに経済活動が徐々に回復し、個人消費を中心として緩やかに持ち直しの動きが見られました。しかしながら、急速な為替相場の変動や長期化するウクライナ情勢による資源・エネルギー価格の高騰及び供給不足、世界的な物価上昇など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような情勢の下、当社は、売価是正、拡販に注力するとともに、生産の合理化・効率化による製造原価低減など一層のコスト削減に取り組み、全社を挙げて収益確保に努めてまいりました。

この結果、当事業年度の売上高は、電子材料関連製品等の需要低迷の影響により機能性化学品の販売が減少しましたが、欧州向けの医薬関連製品等の販売増及び為替の影響による増収により、186億1百万円（前事業年度比7.5%増）となりました。利益面では、原燃料価格高騰や新設したマルチプラント（CMIVプラント）稼働に伴う減価償却費の増加等の減益要因があったものの、為替の影響及び売価是正の成果、棚卸資産増加に伴う負担固定費の減少などの増益要因により、営業利益は8億32百万円（前事業年度比63.8%増）、経常利益は8億55百万円（前事業年度比6.6%増）となりました。当期純利益は株式売却による特別利益の減少により、6億90百万円（前事業年度比26.6%減）となりました。

（製品グループ別売上高）

製品グループ		前事業年度		当事業年度		増 減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減比
フ ァ イ ン 製 品	医農薬関連化学品	6,435	%	8,237	%	1,801	%
	機能性化学品	7,862	%	7,611	%	△251	%
	その他（注）	2,998	%	2,753	%	△245	%
	計	17,296	%	18,601	%	1,305	%

（注）従来、医農薬関連化学品に含めていたα-ピコリンの売上高は、社内管理方法の見直しに伴い第1四半期会計期間からその他に含め表示しております。これに伴い、前事業年度におけるα-ピコリンの売上高154百万円を、医農薬関連化学品からその他に組替えております。

なお、当社の事業セグメントは、ファイン製品事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

流動資産は、売掛金が減少しましたが、棚卸資産及び未収消費税（流動資産その他）などが増加し、前事業年度末に比べ20億48百万円増加の149億30百万円となりました。

固定資産は、マルチプラント新設などによる有形固定資産の増加により、前事業年度末に比べ23億28百万円増加の241億52百万円となりました。

この結果、総資産は前事業年度末に比べ43億76百万円増加し、390億82百万円となりました。

（負債）

流動負債は、買掛金が減少しましたが、短期借入金の増加などにより、前事業年度末に比べ26億44百万円増加の86億79百万円となりました。

固定負債は、マルチプラント新設に係る長期借入金の増加により、前事業年度末に比べ16億11百万円増加の83億48百万円となりました。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べ42億56百万円増加し、170億28百万円となりました。

(純資産)

純資産は、当期純利益の計上及び配当金の支払いなどにより、前事業年度末に比べ1億20百万円増加の220億54百万円となりました。自己資本比率は前事業年度末の63.2%から56.4%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度の営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前当期純利益を9億25百万円、減価償却費を24億38百万円計上しましたが、営業活動に係る運転資金需要の増加や未収消費税等の増加などにより、33百万円の支出(前事業年度は26億17百万円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、マルチブランド新設など固定資産の取得による支出により、50億94百万円の支出(前事業年度は41億85百万円の支出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払がありました。長期借入金及び短期借入金の借入れによる収入により、49億8百万円の収入(前事業年度は18億60百万円の収入)となりました。

この結果、現金及び現金同等物の期末残高は3億68百万円となり、前事業年度末に比べ2億9百万円減少しました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率(%)	63.2	56.4
時価ベースの自己資本比率(%)	33.1	29.3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%)	207.9	-
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	106.5	-

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注2) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注3) 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の5類への引き下げに伴う個人消費の回復が期待されますが、原油価格など国際商品市況の高騰、さらには、米中摩擦の激化、ウクライナ情勢等地政学的なリスクなどが続いており、今後も不透明な経営環境が続くものと予想されます。

このような状況の中、当社製品の需要は、触媒関連製品や電材関連製品については当面は低調に推移するものの、下半期以降は徐々に回復していくことを見込んでおります。当社は引き続き売価是正、拡販に取り組み、収益の確保を図り、中期経営計画に掲げたスローガン『伝承と挑戦』KX2.0のもと、事業成長戦略をさらに加速するとともに、経営基盤強化及び人材育成強化・加速を積極的に行い、企業価値向上を一層推進してまいります。次期の業績見通しとしまして、売上高208億円、営業利益9億円、経常利益8億40百万円、当期純利益6億30百万円を見込んでおります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

他企業及び過去との比較可能性を確保するため、当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(昭和38年大蔵省令第59号)に基づいて作成しております。

なお、国際財務報告基準(I F R S)の適用につきましては、国内外の情勢を注視し、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	277	368
売掛金	5,181	4,650
商品及び製品	3,433	4,156
仕掛品	1,693	2,385
原材料及び貯蔵品	1,565	2,089
前渡金	-	7
前払費用	31	61
預け金	300	-
その他	400	1,211
流動資産合計	12,882	14,930
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,255	8,641
構築物（純額）	2,312	3,066
機械及び装置（純額）	5,999	10,583
車両運搬具（純額）	5	12
工具、器具及び備品（純額）	573	570
土地	29	29
建設仮勘定	5,608	431
有形固定資産合計	20,782	23,335
無形固定資産		
ソフトウェア	120	96
施設利用権	4	4
無形固定資産合計	124	100
投資その他の資産		
投資有価証券	287	152
長期前払費用	84	65
差入保証金	511	464
その他	38	38
貸倒引当金	△4	△4
投資その他の資産合計	916	716
固定資産合計	21,823	24,152
資産合計	34,706	39,082

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,356	1,788
短期借入金	850	3,150
1年内返済予定の長期借入金	-	1,500
リース債務	2	3
未払金	937	758
未払費用	0	0
未払法人税等	76	114
契約負債	11	5
賞与引当金	165	163
受注損失引当金	44	39
設備撤去引当金	21	-
預り金	20	21
設備関係未払金	1,549	1,133
流動負債合計	6,034	8,679
固定負債		
長期借入金	4,400	6,000
退職給付引当金	1,865	1,894
受注損失引当金	100	157
リース債務	8	11
長期預り金	192	174
繰延税金負債	131	70
その他	40	40
固定負債合計	6,737	8,348
負債合計	12,771	17,028
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,343	2,343
資本剰余金		
資本準備金	1,551	1,551
資本剰余金合計	1,551	1,551
利益剰余金		
利益準備金	341	341
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	1,990	1,898
別途積立金	10,402	10,402
繰越利益剰余金	5,191	5,485
利益剰余金合計	17,924	18,126
自己株式	△14	△14
株主資本合計	21,804	22,006
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	129	48
評価・換算差額等合計	129	48
純資産合計	21,934	22,054
負債純資産合計	34,706	39,082

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高		
製品売上高	15,788	16,980
商品売上高	1,507	1,621
売上高合計	17,296	18,601
売上原価		
商品及び製品期首棚卸高	4,990	3,433
当期商品仕入高	858	1,009
当期製品製造原価	11,234	13,657
合計	17,084	18,100
他勘定振替高	5	4
商品及び製品期末棚卸高	3,433	4,156
売上原価合計	13,645	13,939
売上総利益	3,650	4,662
販売費及び一般管理費		
発送費	437	449
保管費	107	96
役員報酬	167	138
給料手当及び賞与	650	679
賞与引当金繰入額	44	41
法定福利及び厚生費	138	142
退職給付費用	64	62
交際費	17	23
旅費及び交通費	12	59
通信費	22	24
租税公課	80	75
減価償却費	54	59
賃借料	73	75
雑費	322	986
試験研究費	949	916
販売費及び一般管理費合計	3,142	3,830
営業利益	508	832
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	28	6
為替差益	88	51
受取補償金	160	-
受取保険金	36	-
雑収入	7	6
営業外収益合計	321	64
営業外費用		
支払利息	24	37
寄付金	1	2
雑損失	1	1
営業外費用合計	27	41
経常利益	802	855

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
特別利益		
投資有価証券売却益	531	106
特別利益合計	531	106
特別損失		
固定資産除却損	71	36
設備撤去引当金繰入額	19	-
特別損失合計	90	36
税引前当期純利益	1,243	925
法人税、住民税及び事業税	355	260
法人税等調整額	△52	△25
法人税等合計	302	234
当期純利益	940	690

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本								自己株式
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金			利益剰余金 合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金				
					固定資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	2,343	1,551	1,551	341	2,082	10,402	4,696	17,522	△13
当期変動額									
剰余金の配当							△538	△538	
固定資産圧縮積立金の取崩					△92		92	-	
当期純利益							940	940	
自己株式の取得									△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計	-	-	-	-	△92	-	494	402	△0
当期末残高	2,343	1,551	1,551	341	1,990	10,402	5,191	17,924	△14

	株主資本	評価・換算差額等		純資産合計
	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	21,402	664	664	22,066
当期変動額				
剰余金の配当	△538			△538
固定資産圧縮積立金の取崩	-			-
当期純利益	940			940
自己株式の取得	△0			△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		△534	△534	△534
当期変動額合計	402	△534	△534	△132
当期末残高	21,804	129	129	21,934

当事業年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本								自己株式
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金			利益剰余金 合計	
		資本準備金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金				
					固定資産圧 縮積立金	別途積立金	繰越利益剰 余金		
当期首残高	2,343	1,551	1,551	341	1,990	10,402	5,191	17,924	△14
当期変動額									
剰余金の配当							△489	△489	
固定資産圧縮積立金の取崩					△92		92	-	
当期純利益							690	690	
自己株式の取得									
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計	-	-	-	-	△92	-	293	201	-
当期末残高	2,343	1,551	1,551	341	1,898	10,402	5,485	18,126	△14

	株主資本	評価・換算差額等		純資産合計
	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	21,804	129	129	21,934
当期変動額				
剰余金の配当	△489			△489
固定資産圧縮積立金の取崩	-			-
当期純利益	690			690
自己株式の取得	-			-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		△81	△81	△81
当期変動額合計	201	△81	△81	120
当期末残高	22,006	48	48	22,054

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	1,243	925
減価償却費	1,820	2,438
有形固定資産除却損	71	36
投資有価証券売却損益 (△は益)	△531	△106
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△35	29
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8	△2
設備撤去引当金の増減額 (△は減少)	2	△21
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	108	52
受取利息及び受取配当金	△28	△6
受取保険金	△36	-
受取補償金	△160	-
支払利息	24	37
売上債権の増減額 (△は増加)	△420	531
棚卸資産の増減額 (△は増加)	867	△1,939
仕入債務の増減額 (△は減少)	147	△567
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△51	△963
その他	187	△225
小計	3,214	218
利息及び配当金の受取額	28	6
保険金の受取額	36	-
利息の支払額	△24	△37
法人税等の支払額	△638	△222
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,617	△33
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,774	△5,346
無形固定資産の取得による支出	△27	△29
投資有価証券の売却による収入	569	124
その他	46	157
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,185	△5,094
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	-	2,300
長期借入れによる収入	2,400	3,100
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△0	△2
自己株式の取得による支出	△0	-
配当金の支払額	△538	△489
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,860	4,908
現金及び現金同等物に係る換算差額	24	9
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	316	△209
現金及び現金同等物の期首残高	260	577
現金及び現金同等物の期末残高	577	368

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社の事業セグメントは、ファイン製品事業のみの単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	4,484.59円	4,509.14円
1株当たり当期純利益	192.32円	141.24円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益(百万円)	940	690
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(百万円)	940	690
普通株式の期中平均株式数(株)	4,891,154	4,891,117

(重要な後発事象)

該当事項はありません。